

# うおぬま体験交流推進協議会

## 連絡先

住 所	新潟県魚沼市穴沢 2 1 5 - 1
電話 番号	0 2 5 - 7 9 8 - 4 5 6 6
FAX 番号	0 2 5 - 7 9 6 - 2 7 7 5

## 受入体制

### (1) 協議会構成員

#### ①魚沼市関連

商工観光課観光振興室、農林課農政室、市民課まちづくり室、  
教育委員会生涯学習室

#### ②公社・組合等

魚沼市観光協会、(財)魚沼市地域づくり振興公社、(財)魚沼市農業公社、  
各地域の森林組合、魚沼漁業協同組合、入広瀬山菜組合、J A北魚沼、  
中越森林管理署 他

#### ③宿泊関連 (民間)

守門地区団体受入組合、入広瀬民宿旅館組合 (プラス農家民宿)、  
広神地区旅館民宿、奥只見旅館飲食店組合、大湯栃尾又温泉旅館組合、  
折立地区温泉組合 他

#### ④体験受入関連

奥只見郷ネイチャーガイド、高野養魚場、大白川木工センター、奥只見観光 (株)、  
入広瀬そば打ち組合、広神そば打ち愛好会、入広瀬わら細工組合、  
食文化フォーラム実行委員会、曹洞宗青年会、むつみグループ、ものずき村、  
(株)入広瀬、玉川酒造 (株)、サンライス魚沼、魚沼自然大学、なりわいの匠、  
おりたて振興組合、山彩すもんの会、湯之谷茶々の会 他

#### ⑤交通機関

山峡交通株式会社、南越後観光バス株式会社、ひかり交通株式会社、  
魚沼市タクシー協会 他

#### ⑥その他

尾瀬ルート活性化委員会、N P O魚沼交流ネットワーク、N P O法人魚沼伝習館、  
(株)深雪の里、にいがた魚沼特産振興企業組合 (かたっくり) 他

## (2) 役割

- ①協議会は、主に魚沼市に来訪する学校団体等との連絡調整（問合せ、企画相談、手配依頼、請求・支払）を行い、体験交流事業のコーディネートを行う。
- ②協議会は当面は（財）魚沼市地域づくり振興公社入広瀬事務所に事務局を置き、当振興公社職員が事務を支援する。
- ③協議会は、協議会会員による誘客宣伝業務等の活動支援を行うほか、各種の誘客イベント等に参加する。

## 受入学校名

東京都武蔵野市立第一小学校

## 当該小学校の受け入れの経過

### (1) 小学校との最初の接点（きっかけ）

平成19年、魚沼市役所（当時 地域振興課）より「子ども農山漁村交流プロジェクト」の受け入れ可能かどうかの依頼があった。

新潟県内（魚沼市、長岡市、塩沢町、上越市）の中から魚沼市（守門地域）の受け入れが決定した。

### (2) その後の小学校への対応

- ①その当時は、守門地区団体受入組合（民宿小西屋、港屋旅館）を中心に受け入れの対応をした。（平成21年度からは財団法人魚沼市地域づくり振興公社で対応）
- ②受け入れ1週間前に学校を訪問し、保護者説明会と受け入れの最終確認を行った。

## 小学校が当地を選定した理由

- (1) 小学校側が魚沼から行く尾瀬を行程に入れたい希望があった。
- (2) 平成2年度より学校団体の自然体験教室の受け入れ実績があったため。

## 受入地域への効果

- (1) 受け入れ地域内の歴史、郷土料理等の再発見ができた。
- (2) インストラクターや宿舎は交流をとおして貴重な体験ができた。

## 受け入れた小学校との関係維持への対応

- (1) 小学校の要望にできるだけ答えるようにしている。
- (2) 学習発表会に参加し、交流を継続している。